

企業誘致は

どうなっているか



井花 定樹 議員

問 高島市も企業誘致条例を設置し営業本部を中心に、企業誘致に汗をかいていると聞きます。これは、地域経済活性化の、ひとつの方法であることには間違いのないと理解するが、他の自治体に比べ、企業が食指を動かすには、助成の条件が劣っていると感じます。市の財源不足の中、次の4点について問う。

①現在の企業誘致活動の状況

②市としては、どのような業種、規模を考えているのか

③市としての誘致条件の特徴は

④2007年問題との関係について施政方針でもふれているが、その後具体的な取り組み

答 産業循環政策部次長 課題に対応しながら企業誘致を

①新規、業務拡充等2件の問い合わせがありました。申込みまで至っておりません。

②業種は製造、情報通信、運輸、卸売・小売、宿泊、サービス業、飲食店等で、規模は工場等の建設や増設、設備投資の総額が5千万以上かつ新規雇用が新規企業で10以上、既存



マキノ工業団地

企業で5人以上が条件です。

③新技術・製品・サービスなどの研究開発、流通施設全ての産業分野に、又、市内農林水産品を活用する企業には奨励金制度を設けています。

④高島の未来を創ろうとする若い人達や元気な高齢者(2007年問題の団塊の世代を含む)の起業、新分野への挑戦を応援する地域産業創造事業を充実させ、利用促進を図ります。

公共交通機関の

利用促進を



清水 鉄次 議員

問 JR3月ダイヤ改正で、増便に向けてどのような交渉をしておられるのか。

②駅のバリアフリー化による、各駅のエレベーターの設置の件で、合併特例債を利用する予定はないか。

③駅前の駐車場に、多くの借地料を払っているが、行政サービスの平等化の為に



答 土木交通部長 湖西線のダイヤの増便ならびに市内各駅のエレベーター設置については、JR西日本や滋賀県に対し強く要望しています。

駅前駐車場の有料化は、市民が等しく公平に利用できる方策の一つで、より多くの市民の方のご意見をお聞きしながら慎重に検討していきたいと考えています。

0万円の契約で、市民から信頼される病院改革ができるのか。

②病院担当の副市長2人制は、市民の理解が得られるのか。

③病院は企業会計であるので、医師、看護師を始め「働く者が報われる」システムができないか。

答 病院改革室長 スピードと実践で経営改善を目指します

①病院の経営改善は待たなしの状況です。コンサルタント導入により結果を出し、病院の改革を実現できる道筋を立てます。

②病院現場により一層向き合い意思決定の迅速化を図り早期に経営改善を成し遂げるための体制づくりです。

③経営貢献度を評価するシステムを検討します。

県版特区・市の観光事業・

ビジネスプランオーディションの取り組みは?



小島 洋祐 議員

問 県版特区を柱に、高島市の観光を強力に推進することが、新たな地域経済の活性化に繋がるかと確信しますが、認定評価委員長の堺屋太一氏をはじめ、各委員の高島市特区の取り組みに対する検証・評価はどのような内容であったか。確か、いくつかの課題を与えられていたと思いますが、平成19年度における高島市の観光事業について、市のイベントをはじめとする観光事業については、既に計画を練られていると思うが如何か。特に事業の展開にあっては1年先を見つめ、ある程度の骨子が固まっていなければ対応できないと思うがどうか。ビジネスプラン

答 営業開発室長 与えられた課題に前向きに挑戦しています

県版特区については、町家を改修した「カフェ」や、水鳥観察センターのリニューアルオープン、中央分水嶺を活用した『平成版鯖街道』の試みは、高島に特化した取組みであり、前向きに評価できることでした。

ビジネスプランオーディションについては、市内外より31件の「心算を戴き、現在2次審査を

終え、3月下旬には最終審査をおこないます。

答 産業循環政策部次長 イベント等で高島市への誘客引力を高めたいと考えます

地域イベントは地域が事業主体となつての取り組みを基本に、また、新たなイベントは日本書紀で本市が生誕地と記されている継体天皇ゆかりの地を学ぶ・観る・体験する・を基本テーマに食を加えた事業や平成20年には生誕400年「近江聖人中江藤樹」記念事業の展開を図ります。

いじめ問題の実態は



小川 庄三 議員

問 いじめは、哲学と慈悲なき社会の反映である。いじめは人道上の犯罪、断じて許さないと強い意志を学校はじめ社会全体に行き渡らせることこそ、いじめ根絶の大前提である。

子どもを守るべき大人たちが、「いじめ側が100パーセント悪い」という、いじめを心底憎む共通の認識に立つべきだと思いませんか。いじめは表面化しにくい実態が浮かび上がっています。いじめを無くすカギを握っているのは周りで見ている人たちであり、学校においては教師しかありません。

高島市でのいじめ問題の実態と、学校や親、

答 教育次長 いじめは、絶対に許されない

10月末での「いじめもしくは、いじめが心配される件数」調査では、小学校で7校23件、中学校で3校10件の報告でした。10月末に小中学校の校長と生徒指導主任の緊急会議をもち、いじめ問題への取組の徹底を図りました。

続いていじめの実態調査やいじめ問題への取組の点検

を行うとともに、全学校を訪問して指導にあたっていきます。

学校では、いじめがどこでも起こりうる問題であると捉え、「いじめは絶対に許されない」との強い認識のもとに、アンケートや個人面接などでいじめの発見に努めています。

家庭には子ども用と保護者用の相談先電話番号一覧を配布し、地域には学校だより等で子どもへの温かい見守りをお願いしています。



継体天皇ゆかりの地 安産もたれ石

